

# 学び、経験 社会で生かす

## 八学大・八学短大部 学位記授与式

### 八戸

八戸市の八戸学院大学(法官新一学長・学校法人)あり、バー手前の停止線で一時的に停止する必要がある。同事務所によると、開通により八戸道に10分でアクセスできる範囲が従来より拡大。3次救急医療機関である八戸市立八戸市民病院への搬送時間が短縮し、救命率向上への貢献も期待されるという。

同事務所の松田友也所長は「八戸西スマートICの着手から約5年がたち、やっと利用開始にこぎ着けることができる。これまで以上に八戸道を便利に使ってほしい」と呼び掛けた。



学位記を授与される卒業生代表

光星学院理事長)と同大短期大学部(同)の本年度学位記授与式が18日、同市の八戸プラザホテルアーバンホールで開かれた。大学2学科計126人、短大部2学科計116人が、学位記を手に新社会人としての決

意を新たにした。各学科の卒業生代表各1人に法官学長が学位記を授与。昨年のプロ野球ドラフト会議で巨人の1位指名を受けて入団し、理事長特別賞を受けたビジネス学科の高橋優貴さん(欠席)ら、優秀な成績を上げた卒業生が表彰された。

法官学長は「人口減少など現代社会の課題に取り組むのは諸君の若い力。強く生き、考え、努力するといふ使命を果たすことを願っている」と式辞。大学人間

健康学科の安達美海さんと短大部ライフデザイン学科の宮澤日向子さんが卒業生を代表して謝辞を述べた。安達さんは「養護教諭になる夢をかなえるために入学し、多くの学びと出会い、経験を重ねた。身に付けたことを教育現場で生かす」と胸を張り決意を語った。

式典では、短大部幼児保育学科1年生が毎年恒例の「ハレルヤ」合唱を披露。美しいハーモニで先輩たちの在学中の努力をねぎらった。(若松清巳)